

二〇一〇年二月二一日(日) 聖日礼拝第一〜四

ヨハネ伝一四章二七〜三一節

「世間を見切る信仰」

説教者：藤林いざや師・今井直喜師

(新共同訳)

27 わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を
与える。わたしはこれを、世が与えるように与えるのではな
い。心を騒がせるな。おびえるな。28 『わたしは去って行
くが、また、あなたがたのところへ戻って来る』と言ったの
をあなたがたは聞いた。わたしを愛しているなら、わたしが
父のもとに行くのを喜んでくれるはずだ。父はわたしよりも
偉大な方だからである。29 事が起こったときに、あなたが
たが信じるようにと、今、その事の起こる前に話しておく。

30 もはや、あなたがたと多くを語るまい。世の支配者が
来るからである。だが、彼はわたしをどうすることもできな
い。31 わたしが父を愛し、父がお命じになったとおりに行
っていることを、世は知るべきである。さあ、立て。ここか
ら出かけよう」

(聖書講解)

A キリストの与える《平和》は、ヘブライ語の「平和(シ
ヤローム)」と結び付き、完全な) (状態を表す。

B 《平和》は、人間の救い全体であり、() する
パラクレートスなる聖霊により生み出される。

C 福音書記者は、父と子の() 性と主イエスが
父に遣わされ、使命を果たしていることを主張する。

D 《世の支配者》は、受難と十字架をもたらずが、なんら
() をもたらずことはできない。

E 助け主である聖霊が、常に共に在る新しい()
へと、いよいよ踏み込んでいくのだと、明言して出発する。

メッセージポイント

キリストのもたらす（ ）は、

「インサイド・アウト」である。

参照）ヨハネ伝 14:18 『わたしは去って行くが、また、あなたがたのところへ戻って来る』と言ったのをあなたがたは聞いた。……

神の子・キリスト者は、おびえ、惑う

（ ）がない。

参照）ヨハネ伝 14:30 もはや、あなたがたと多くを語るまい。世の支配者が来るからである。だが、彼はわたしをどうすることもできない。